

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
事務事業名	臨海部活性化推進事業（バイエリア）			事業番号	017-057
担当部署名	建築都市	局	都心未来創造	部	バイエリア推進担当
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
			有	取組の方向性	③ベイエリアとの連携			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）			
			有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
			有	取組	堺市都市計画マスタープランに基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	・堺臨海部再生・創造ビジョン ・大阪広域バイエリアまちづくりビジョン ・堺市中心市街地活性化基本計画			
---	------	--	--	--	--

3	事業開始年度	平成 23 年度	点検対象年度	令和 7 年度
---	--------	----------	--------	---------

4	実施根拠（根拠法令、条例等）	都市計画法、中心市街地活性化法			
---	----------------	-----------------	--	--	--

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁			
---	---------------------	----	--	--	--

6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	対象者：臨海部を訪れる市民及び市外からの来訪者	対象数	単位
		対象地域：堺旧港、堺 7 - 3 区、その他の臨海部	—	—

7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	堺市基本計画2025や堺グランドデザイン2040に示す将来イメージの実現、大阪広域バイエリアまちづくりビジョンの推進に向け、堺駅・堺旧港や堺浜の活性化、魅力創出に向けた取組を進め、立地特性を活かした賑わい・憩いによる魅力ある海辺空間、交流拠点の形成を図る。			
---	---------------------	--	--	--	--

8	事業内容（目的を達成するための手段）	<大阪広域バイエリアまちづくり> ・大阪府、大阪市と連携のもと、大阪広域バイエリア全体の活性化に向けた、将来像や取組の方向性等を示す大阪広域バイエリアまちづくりビジョン（案）の取組を推進する。			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<堺旧港> ・堺旧港の水辺の魅力を活かした交流空間の形成に向け、親水護岸及びその後背地との一体的な利活用による交流機能の導入、居心地の良い空間形成、また社会実験等を通じたエリアの可能性等の見える化や民間、地域、将来のエリアマネジメント促進に向けた機運醸成など、堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）の取組を推進する。			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				

9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託業者			
---	--------------------	------	--	--	--

10	公民連携・協働事業				
----	-----------	--	--	--	--

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	バイエリアの活性化					
	当該目標を設定した理由	バイエリアの活性化が目的達成に寄与するため				
	目標に対する実績	堺旧港における交流空間創出に向けた社会実験の実施、交流機能導入に向けた検討				

	当該目標を設定した理由	バイエリアの活性化が目的達成に寄与するため					
	目標に対する実績	堺旧港における交流空間創出に向けた社会実験の実施、交流機能導入に向けた検討					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	大阪広域バイエリアまちづくりの推進	－		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	大阪広域バイエリアまちづくりビジョンの策定	バイエリア活性化の取組（社会実験等）	バイエリア活性化の取組（社会実験等）	
			実績値	大阪広域バイエリアまちづくりビジョンの策定	バイエリア活性化の取組（社会実験等）		
			達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由	大阪及び堺のバイエリアの活性化に向けた取組を推進するもの						
	目標値の設定根拠・算出方法	大阪広域バイエリアまちづくりビジョン作成・ビジョンに基づく取組推進					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		臨海部活性化推進事業（ベイエリア）				事業番号		017-057			
-------	--	-------------------	--	--	--	------	--	---------	--	--	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度			
		決算		決算		当初予算		当初予算			
13	事業費（a）	15,383		17,958		18,632		9,819		12,800	
	財源										
	内										
	訳										
	国支出金										
	府支出金										
	市債										
その他（ ）											
	受益者負担金(使用料、手数料等)										
	一般財源	15,383		17,958		18,632		9,819		12,800	
14	人件費（b）	21,320		18,860		21,060		21,060		17,760	
15	年間経費（c）=（a）+（b）	36,703		36,818		39,692		30,879		30,560	

事業費の内訳

（単位：千円）

16	事業費内訳	項 目	年度		事業費		うち一般財源	項 目	年度		事業費		うち一般財源
			R5	決算	8,836	8,836			R5	決算	27	27	
		堺旧港エリア等活性化推進業務	R6	予算	12,500	12,500	保険料	R6	予算	30	30		
			R5	決算	882	882		その他	R5	決算	54	54	
		手数料	R6	予算	0	0	R6		予算	41	41		
			附属機関報酬	R5	決算	0	0		R5	決算			
		R6		予算	123	123	R6		予算				
		謝礼金	R5	決算	20	20		R5	決算				
			R6	予算	82	82		R6	予算				
		費用弁償	R5	決算	0	0		R5	決算				
			R6	予算	24	24		R6	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	①	区 分	単位	令和4年度	令和5年度
	②	上記①にかかる年間経費	千円	—	—
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位		
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	大阪広域ベイエリアまちづくりにおける堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）に基づき、堺旧港親水性護岸とその後背地との一体的な利活用による交流機能の導入等に向け、事業者サウンディング、護岸とその後背地の活用事業者を公募するにあたり必要となる公募関連資料の作成を行ったほか、エリアの魅力、可能性等の見える化や民間、地域、将来のエリアマネジメント促進に向けた機運醸成を図るための社会実験では来場者の増加や出店者による事業可能性の評価の向上が見られる等大阪広域ベイエリアの活性化に向け、費用対効果は順調に推移している。
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）
19	「堺市基本計画2025」等にて示す将来イメージの実現、大阪広域ベイエリアの活性化、堺旧港の海辺の特性を活かした居心地の良い交流空間の形成に向け、護岸後背地への交流機能導入等の事業検討を行い、また大阪府による舟運社会実験と連携しながら、海辺の交流空間創出の社会実験を実施し当エリアの魅力の見える化や発信を行った。